

平成24年7月19日

お 知 ら せ

資料提供

三次記者クラブ

## 地元自治振興センター主催行事の一環として 尾道松江線の現場をご案内します

～「高速約5km歩こう会 高野IC周辺」の開催～

庄原市高野町下門田<sup>たかの しもんで</sup>地内において、中国横断自動車道尾道松江線のウォーキングによる現場見学会を行います。

この行事は、庄原市高野町の下高<sup>しもたか</sup>自治振興センターから『この夏の思い出に、開通すると歩くことが出来ない尾道松江線の橋の上などをみんなで歩いて、自分たちの暮らす地域を眺め、しっかり目に焼き付けたい』との申し出があり開催するものです。

今回の見学会は、およそ60名の地元の方が参加し、下門田橋や高野IC建設予定地など、日頃は下から見上げるだけの橋の上からの眺めや、地域の新たな玄関口となる施設が建設されていく様子を楽しみながら、全長約2.5kmを往復して歩くものです。

開催日時：平成24年7月27日(金)10:00～12:00【小雨決行】

※雨天時は7月30日(月)に順延

集合場所：下高<sup>しもたか</sup>自治振興センターグランド【9:50集合】

(庄原市高野町下門田8番地)

※構造物の名称は、仮称です。

● 問い合わせ先 国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所

副所長(道路担当)

<sup>しんたく</sup>新宅 <sup>きよと</sup>清人

【担 当】調査設計課長

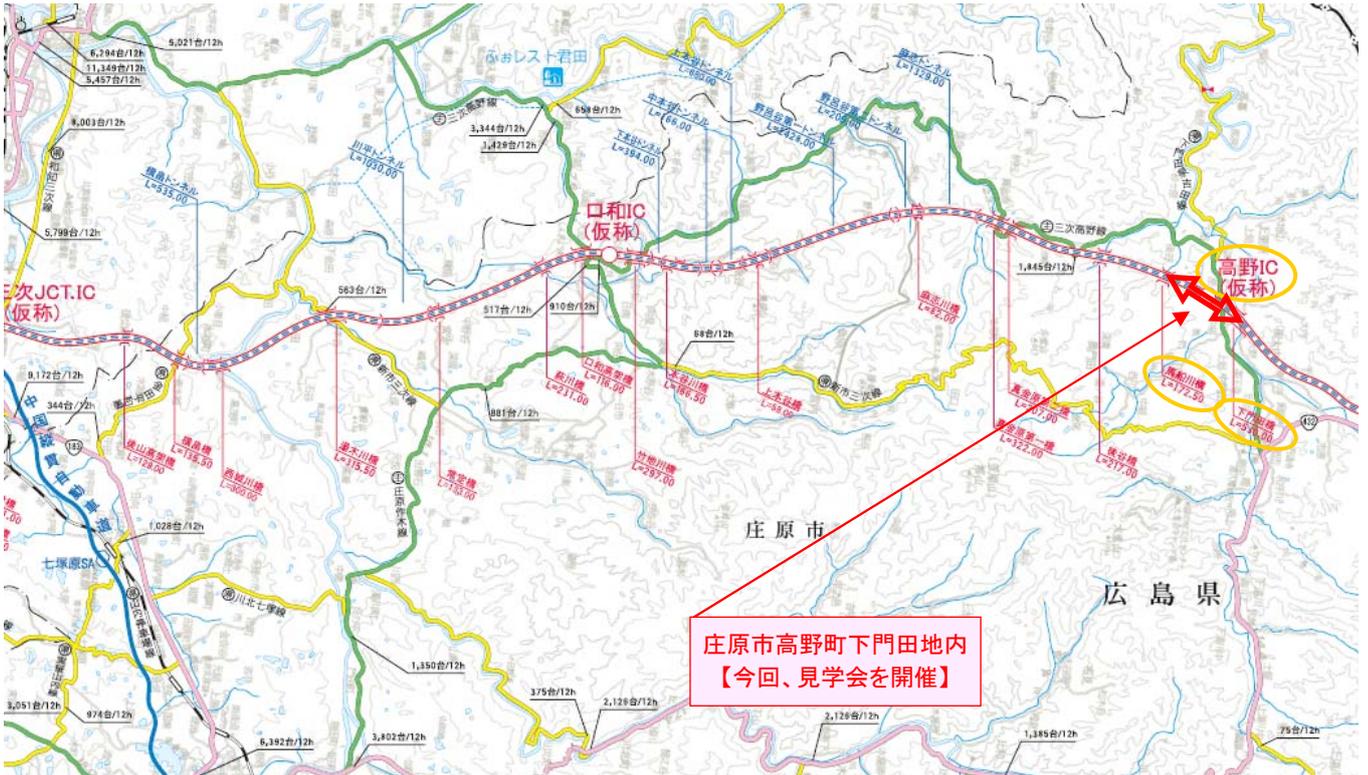
<sup>かげやま</sup>景山 <sup>ひろたか</sup>浩孝

【広報担当】建設専門官

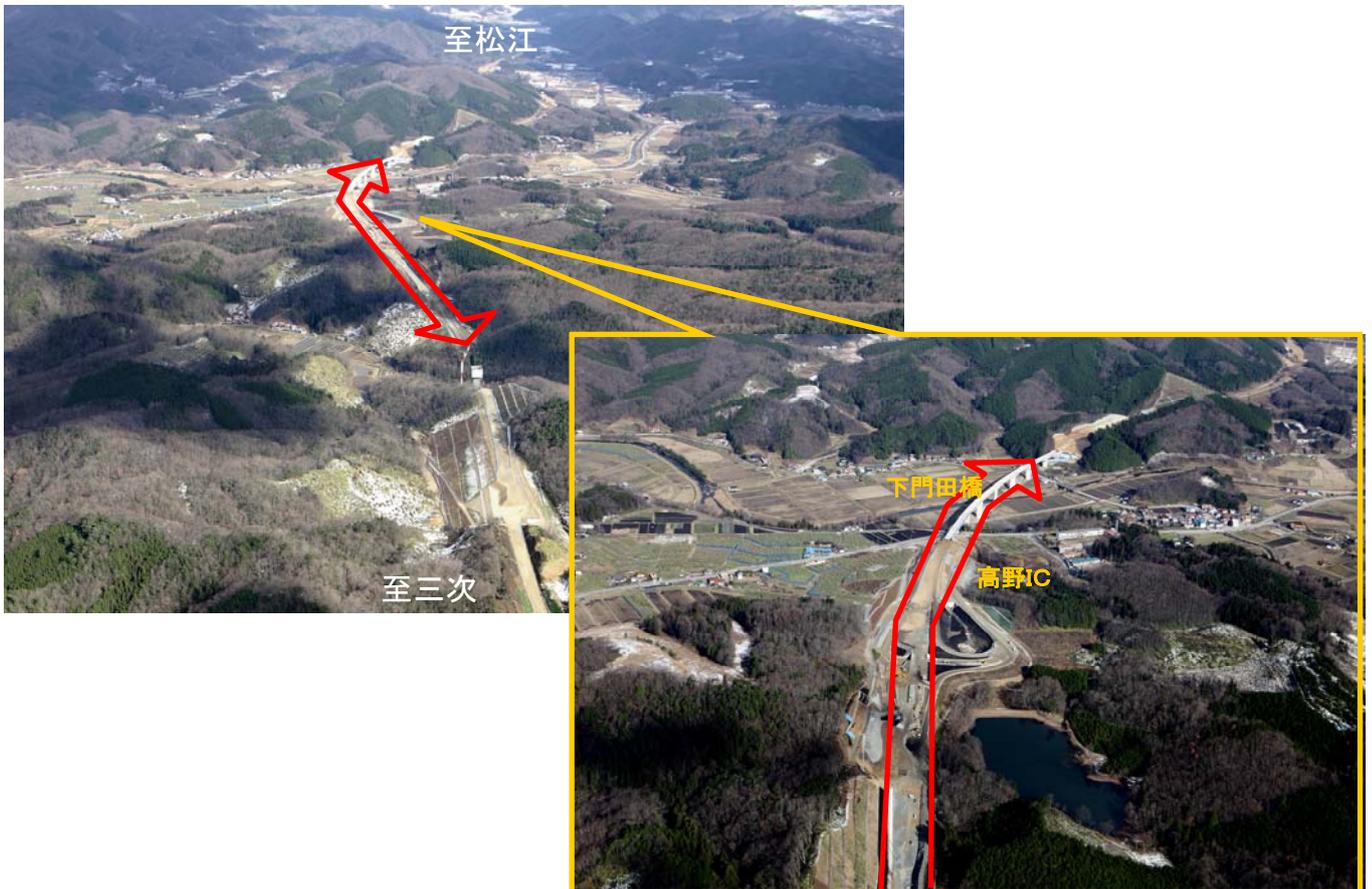
<sup>なかい</sup>中井 <sup>きみお</sup>喜美男

TEL:(0824)63-4121(代表)

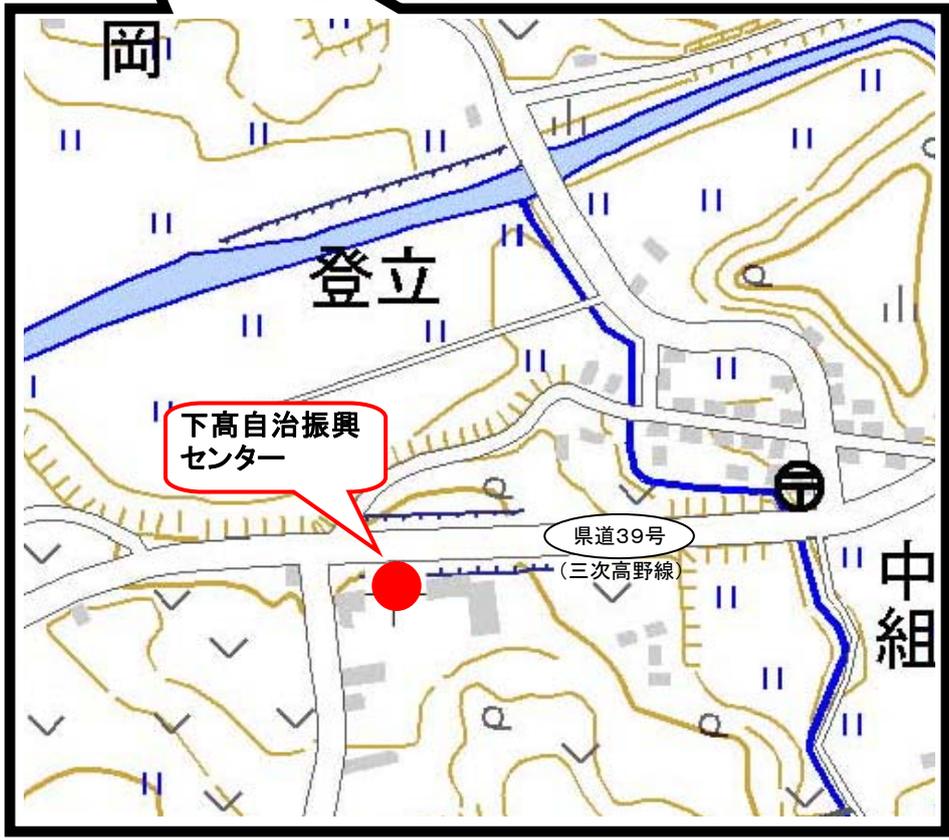
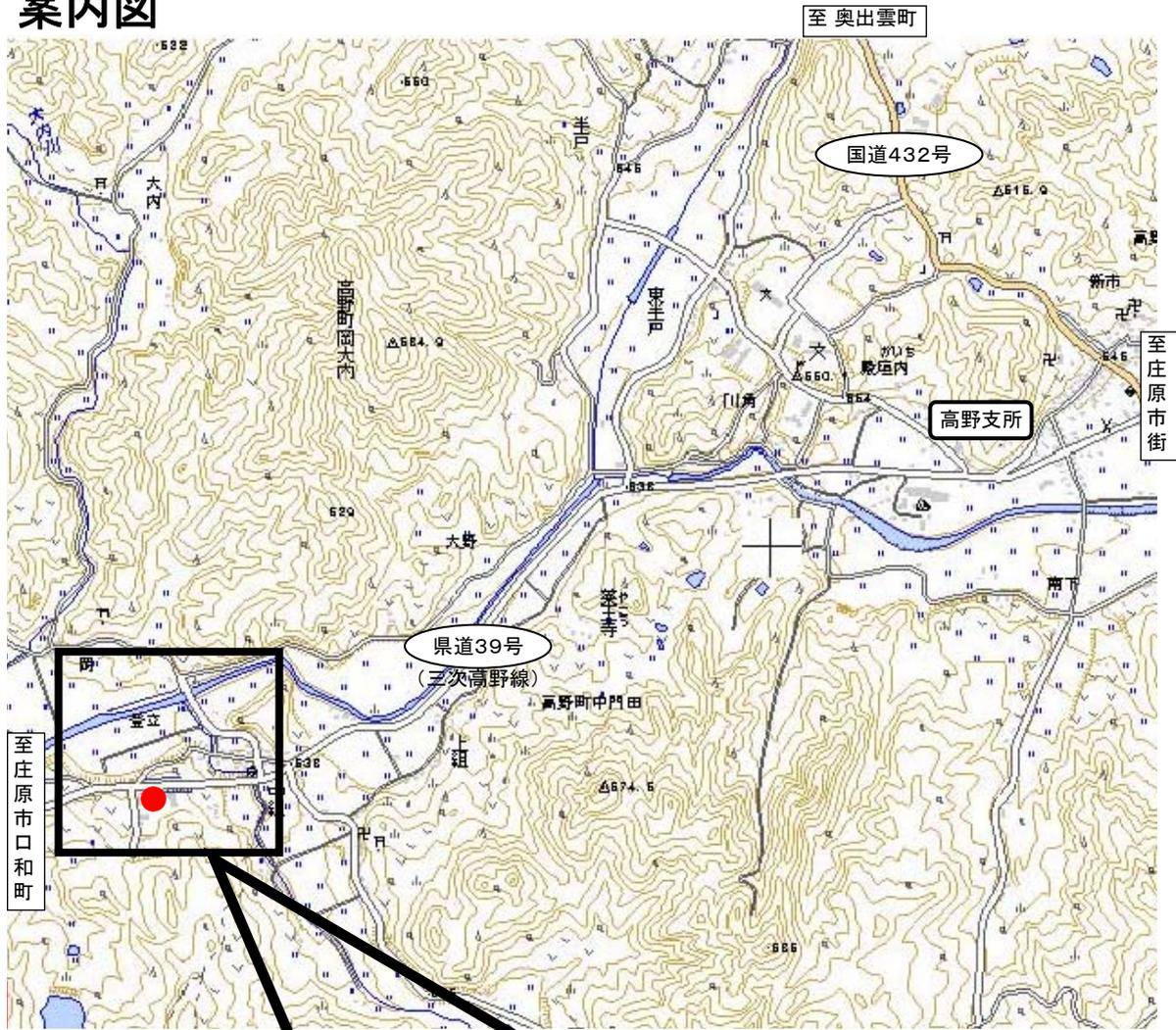
# 位置図



# 現地状況写真



# 案内図



# 中国横断自動車道尾道松江線

- 競争力のある地域経済社会の再構築 ●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
- 国内交通ネットワークの強化 ○都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

中国横断自動車道尾道松江線は、尾道市を起点に三次市を経由し、松江市に至る、延長約137kmの高速自動車国道です。このうち、尾道JCT～三刀屋木次IC間(延長110.9km)は、直轄高速方式により整備しており、平成23年度までに延長31.5kmが供用しています。

平成24年度は三次JCT・IC(仮称)～吉田掛合IC間(延長48.7km)の改良、橋梁、舗装、トンネル、トンネル設備工事を推進し、平成24年度内の供用を目指すと共に、世羅IC～三次JCT・IC(仮称)間の文化財調査及び用地買収、改良、橋梁工事を推進し、平成26年度までに全線供用を目指します。

## 位置図

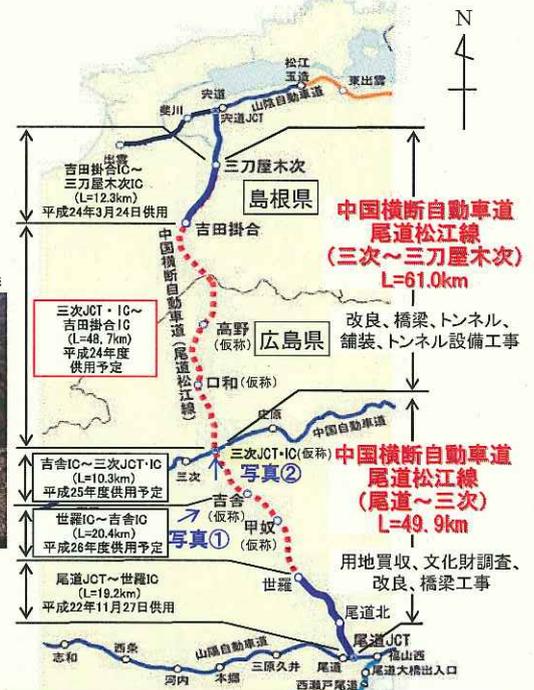


## 進捗状況写真



写真① 甲奴IC～吉舎IC間(海田原高架橋)

写真② 三次JCT・IC～口和IC間(三次JCT・IC付近)



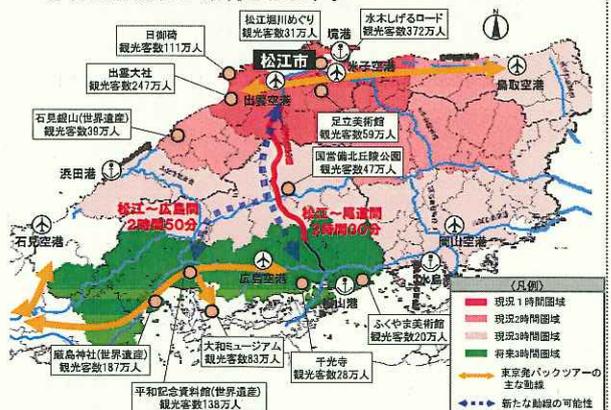
## 期待される整備効果

- 主要都市間の所要時間短縮及びりダンダンシーの確保
- 尾道松江線の整備により、山陰・山陽間の所要時間が短縮され、相互の地域間交流及び人流・物流・産業交流の活発化、地域経済の向上が期待されます。



※所要時間は、下記の条件により算出  
 整備前：H17道路交通センサスの混雑時旅行速度  
 現況：尾道JCT～世羅IC間はV=70km/h、その他はH17道路交通センサス混雑時旅行速度  
 整備後：尾道松江線はV=70km/h、その他はH17道路交通センサス混雑時旅行速度

- 観光の支援(日帰り圏の拡大)
- 尾道松江線の整備により、松江市からの3時間圏(日帰り圏)が拡大されます。また、観光地間が時間短縮することにより、新たな観光ルートの開発や観光産業等による地域の活性化が期待されます。



※時間圏は、左記と同様に算出  
 資料：広島県、鳥根県、尾道市観光動態調査結果(H22)  
 東京発パッカーの動線は、H18.10以降に東京から中国地方を  
 進行する添乗員同行の20ツアー(大手4社)を対象として集計。